

「JSBB 感染予防対策ガイドライン」を踏まえた当面の対応

【はじめに】

活動再開希望を踏まえ、今後夏季大会等の実施を進めてまいります。活動や試合実施に当たっては、新型コロナウイルス感染防止を最優先に配慮してまいります。

感染を拡大させないことは勿論のこと、無症状であっても他人に感染させ得ることがあることを認識し、医療従事者や医療資源、周囲に負担があってはならないことを意識して、各チーム協力しながら活動してまいりましょう。

【活動範囲の目安と指導】～JSBB ガイドラインを踏まえ～

- ・ 6月18日までは、屋外200人以下、人との距離をできるだけ2m確保。
- ・ 6月19日から、屋外1,000人以下、人との距離をできるだけ2m確保。

指導者は、常に選手の健康状態に留意・監視し、少しでも不安や普段と違う状態と判断される場合は、直ちに活動を中止し、然るべき対応（休憩・休養（活動中止）・通院等）を行う。

また、以下の「活動や大会に向けての予防対策・留意事項」をチーム関係者（父兄も含め）に浸透させ徹底を図ってください。

【活動や大会に向けての予防対策・留意事項】

1. 選手、指導者、審判、役員は参加前（当日）に検温を実施し申告、発熱・咳・倦怠感等風邪の症状のある者、味覚臭覚を感じない者および検温結果で平熱より高い（概ね37.5度以上）者は参加を認めない。
2. チーム代表者は、試合前に選手等の健康状態を必ず確認すると共に、別添の「健康チェックシート」を試合都度作成し、少年部（大会本部席）宛試合前に提出する。
3. 参加・移動時及びベンチ内では原則マスクを着用する（但し熱中症を配慮し外すことも可）。
4. 各チームは、手洗い用のポンプ式石鹸や消毒液を準備し、各自（指導者・審判を含め）水分は多めに持参、タオル・ペットボトル・コップ等の共有は避ける。
5. 選手・指導者・審判・役員は、手洗い・うがいを励行する。目・鼻・口に極力触らないよう心掛ける。また、つば・痰を吐く行為の禁止。
6. 感染者が発生した場合は、少年部へ遅滞なく報告する。その場合、活動・大会は中止とする。
7. 人との距離はできるだけ2m確保し、ベンチ内でも一定の間隔を確保（安全確保のためベンチ外での待機も認める）、ハイタッチ等肌が触れ合う行為は禁止。ゴミも全て持ち帰ること。
8. 試合前・終了時の挨拶等は、慣例等を見直し感染予防対策を優先する（握手等は控え、ベンチ前に整列し挨拶を）。
9. 主審は原則マスクを着用する（但し、天候等を考慮、熱中症を配慮した対応を認める）。
10. 会場での消毒液等の設置、長めのインターバルを確保するよう努める。
11. 大声での応援は控え、チーム代表者が監視する。更に、役員が注意した場合はそれに従う。（従わない場合は、中止もあり得る。）